

情報活用能力育成のための指導事例【特別支援学校 中学部 第2学年 総合的な学習の時間】

単元・題材名	職場体験のことを発表しよう	指導時間（本時）	4 / 5
本時の目標	教科・科目	・ 職場体験で経験したことを振り返り、他の生徒に分かりやすく発表することができる。	
	情報教育 (3観点8要素)	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータなどを使って、プレゼンテーションの資料を作る。(モA42-3-010) <p>■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する内容を吟味しながら、聞き手に伝わりやすいスライドを作成する。(モA42-3-030) ・ 発表時間に合わせて、プレゼンテーションの構成を組み立てる。(モA42-3-050) 	
活用する主なICT機器等	<p>■コンピュータ ■デジタルテレビ ■デジタルカメラ ■インターネット</p> <p>■ソフトウェア（プレゼンテーション）</p>		
本時の概要	職場体験学習で経験したことを振り返らせるとともに、他の生徒に分かりやすい発表とするために、プレゼンテーションソフトを活用し、資料を作成させる。		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 職場体験時の写真を拡大提示する。</p> <p>※ 職場体験での出来事を想起させる。</p>
	展開	3 プレゼンテーションソフトを活用した発表資料を作成する。	<p>◎ プレゼンテーションソフトを活用し、まとめさせる。</p> <p>※ 分かりやすく発表するためには、どのようなものを作ればよいのか考えさせる。</p> <p>※ 職場体験時の写真を準備し、必要なら貼り付けさせたり、補足のための文章を考えさせたりする。</p> <p>※ プレゼンテーションの作成が終わった生徒は、説明に合わせたスライドショーについて練習させる。</p>
	終末	4 本時のまとめをする。	
使用した教材・資料 (コンテンツ)	○名称・出典・内容など		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータをはじめとする情報機器が、支援を必要とする児童生徒に対して、必ずしも使いやすい仕様になっているわけではないことに留意する。 ・ 情報収集の手段としてインターネットの活用、情報発信の手段としてコンピュータによる発表資料の作成等を通して、ICTを効果的に活用し、情報収集や情報の処理を工夫する能力を身に付けさせる。 		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材を作る際に、情報が多すぎると生徒が戸惑ってしまうことがあるため、教えることを明確にし、資料を精選して映し出すようにしている。 		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の[実践]力」→ [実践]、「情報の科学的な[理解]」→ [理解]、「情報社会に参画する[態度]」→ [態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号